

INTERVIEW インタビュー



株式会社トップホールディングス

代表取締役社長

松岡 康博 氏

株式会社トップホールディングス代表取締役社長。創業者の想いを受け継ぐ2代目として、長年にわたり人々の生活に寄り添う「モノづくり」と「売り方づくり」を推進。また、ホールディングス設立を主導し、グループ全体の連携強化と、独自の教育システム「TOP ACADEMY」を通じた若手社員の成長に全力を注いでいる。全ての社員が活躍できる組織を目指す、グループの牽引役である。

生活者の「笑顔」を追求する不变の姿勢 ～圧倒的な創造力と実行力の源泉～

Q. どのような会社なのでしょうか？

トップホールディングスは「生活文化創造企業」を理念に掲げ、人々の生活が便利で楽しくなるような商品やサービスを創造し続けている企業グループです。1964年に創業した以来、生活者の声に真摯に耳を傾け、「モノづくり」と「売り方づくり」を追求。卸売、通販、製造などグループ全体で展開し独自の教育システム「TOP ACADEMY」で全社員の成長を強力にサポートするクリエイティブ集団です。

Q. トップホールディングスが一線を画す独自の強みは何ですか？

弊社の独自の強み、それは「モノづくり」と「売り方づくり」を創業時から一貫して高いレベルで両立させている点にあります。この両輪を追求する哲学は、創業以来、変わることのない「生活文化創造企業をめざして」という不变的な理念に根差しています。この理念は「今日よりも明日、明日よりも明後日、毎日の生活をもっと便利にもっと楽しくするモノ（コト）を、私達自身が考え、私達自身が世の中に提案し続ける」という強い想いに基づいており

弊社の事業活動の根幹となっています。「モノづくり」と「売り方づくり」を妥協なく追い求めるに至った背景には創業時の体験が深く関わっています。1つ目はメーカー的な思想の確立です。弊社の創業は1964年、和装バッグの開発・販売を営む縫製のバックメーカーとしてスタートしました。このメーカーとしての原体験があるため、単に商品を仕入れて売るのではなく、企画そのものを自分達で考えるというメーカー的な思想が強く根付いています。私たちは、生活者の生活が便利に面白く楽しくなるような商品を、自ら見つけ、考え、提供し続けることを基本としています。

2つ目は創業当初からの伝え方への徹底したこだわりです。売り方づくりへのこだわりは創業当初から実践されていました。当時としては珍しく、商品を単に作るだけでなく、その商品の特徴を最大限に生かすためのA4サイズのチラシを活用していました。「いくら良い商品を作っても、その良さがお客様に届かなければ意味がない」という商品価値の表現を追求する姿勢が、モノと伝え方の両輪を高いレベルで実現する創造力と実行力となり、当グループの独自の立ち位置を築いた源となっています。

INTERVIEW インタビュー



また私たちのモノづくりの哲学は「生活者が笑顔になること」。開発において変わらない核として「商品を使う生活者の喜び」と「そこにたどり着くまでの流通の方の喜び」の2つの喜びを満たすことを大事にしています。すなわち「売れること」が最終的に「新しい生活文化の創造によりすべての人を笑顔にすること」に繋がると考えています。

私たちが目指すのは、単なる爆発的なヒット商品ではなく、試作を繰り返し、永く愛され、日々の生活に今までにない感動をもたらす商品を提供し続けることです。開発者はこの観点をどこに求めるかが最も重要だと考えています。

Q.若手社員が将来的に活躍するための独自の育成システムについて教えてください。

当グループでは、「全員活躍・全員成長」をテーマに「TOP ACADEMY（トップアカデミー）」という教育システムがあります。オンライン受講や集合型研修、体験型研修があり、グループ会社である製造現場の実習などにも参加します。これは、自分の仕事が最終的にどのように生活者や現場につながっているかを体感し、「自分の仕事はこれに繋がっているんだ」という気づきを得るためにあります。この経験が社員の成長と仕事へのモチベーション、お仕事のやりがいを大きく支えています。

Q.卸売・通販・製造など多様なグループ会社がありますが、どのように連携し、チームとして動いているのでしょうか？

当グループの強みは、モノづくりから売り方づくりまで一貫して手掛けるグループシナジーです。これを実現するために、組織の土台を固めています。社員の籍は基本的に全員、ホールディングスの雇用であり、それぞれが役割分担でグループ各社に出向する形を取っています。この仕組みにより、全社員が「仲間」であるという意識が非常に高く保たれています。さらに、アカデミーの運営をはじめとする全社的なプロジェクトは、社員の役割分担による横断型（委員会）体制で進められています。所属会社がバラバラのメンバーでチームを組み、定期的に集まって企画を立案・実行します。これにより、異なる会社や部署間の交流が増え、グループ全体の連携がより強固になります。「別の会社の人間」という意識はありません。この強いつながりと交流の仕組みが、グループの推進力となっています。

Q.今後目指す、未来の挑戦についてお聞かせください。

私たちの事業活動の根幹は、不变的価値である「生活文化創造企業をめざして」という理念に基づいています。

INTERVIEW インタビュー



この理念を軸に今は商品ラインナップの多様化に挑戦しています。特に、お客様の年齢層が比較的高いこともあり、今後は日用品だけでなく、医薬品の分野にも積極的に挑戦していきます。これは生活を変えるような商品を提供し、より深く生活者に貢献したいという想いからです。また、事業拡大においては、海外への直接進出にこだわるのではなく、様々な業種・業態の企業様と繋がっていくことを重視しています。新しいパートナーと連携することで、我々の培ってきたノウハウや商品をより広く、より多くの人々に届けられると考えています。これからも、創業以来変わらない「モノづくり」への情熱を持ち、理念の堅持から新しい挑戦を広げていくことが、私たちの未来のキーワードです。

Q.就職活動に励まれている学生の皆様に向けて、メッセージをお願いします。

私たちは、忍耐力などの強さではなく、新しいことにチャレンジする姿勢を継続できるクレバーさ、すなわち「自分自身へのコントロール力」。原点を忘れず、困難な状況を客観的に受け止め、自分のメンタリティや行動をコントロールし続ける力こそが、今後、長く活躍し、成長していくために最も必要な資質だと考えています。ぜひ、タフな状況でも解決策を見出し、挑戦し続けられる、前向きな仲間を待っています。



トップホールディングス

採用情報・インターンシップの
情報はこちら！▼



採用担当：松岡

TEL：06-6387-2141

E-MAIL：saiyo@top-hd.com